公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 child hands大阪

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 令和7年3月1日

回収数 12

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			4		
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7 こどものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11			1	・様々な活動を行っている中で子供達の成長にもつながりとても良いと思う。	追加の意見をいただき、ありがとうございます。 お子様の成長につながる活動を提供できていることを嬉しく思います。 今後も、子どもたち一人ひとりの興味や成長に寄り添いながら、楽しみながら学べる環境づくりに努めてまいります。引き続き、ご意見やご要望がございましたら、お気軽にお聞かせください。 これからもどうぞよろしくお願いいたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1		2	9	・高学年以上の利用者が少なく同学年以上の子どもとの交流を増やして欲しい。（同学校では無く他学校の子）	ご意見をいただきありがとうございます。 現在、当事業所の利用定員が満員となっており、新規の高学年以上の利用者を受け入れることが難しい状況となっております。そのため、同学年の児童同士の交流機会を大幅に増やすことが難しい点、ご理解いただけますと幸いです。 しかしながら、現在利用している高学年以上の児童が、より充実した時間を過ごせるよう、以下のような取り組みを進めてまいります。 異なる学校の同学年児童との交流促進：活動プログラムの中で、異なる学校の児童が自然に関わるようなことができるグループワークやゲームを取り入れます。 年齢に応じた活動の充実：高学年以上の児童が興味を持ちやすい内容の活動を増やし、主体的に取り組める機会を提供します。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8			4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8			4		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			4		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			4	・何名かの子供の顔は分かるが親との交流が無く顔すら知らない。	ご意見をいただきありがとうございます。 保護者の皆様との交流を深めるため、以下の取り組みを進めてまいります。 送迎時のコミュニケーション強化：可能な範囲で送迎時に職員からお声がけをし、お子様の様子や家族に共有できるよう努めます。 個別での保護者面談の実施：ご希望に応じて職員との個別面談の機会を設け、お子様の成長や支援について直接お話しできる場を提供します。 今後も保護者の皆様と連携しながら、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。貴
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			4			
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			4	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				<p>・利用日はいつも楽しみにしている。</p> <p>良いお言葉をありがとうございます。 お子供が利用日を楽しみにしてくださっているとのこと、大変嬉しく思います。これからも、安心して楽しく過ごせる環境づくりに努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				<p>・甘えたい時もあるが小さい子が多く【我慢した！】と聞くことが増えた気がする。</p> <p>・子供にとって楽しい場所になっているのでとても満足している。</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。 高学年のお子供様が甘えたい気持ちを持ちながらも、周囲を気遣い我慢している状況について、職員一層でより配慮してまいります。 対応策として、以下の取り組みを行います。 個別の関わりを増やす：職員が積極的に高学年のお子供様にも声をかけ、安心して甘えられる時間を作ります。 年齢に応じた関わり方の工夫：高学年の児童が気兼ねなくリラックスできるよう、少人数での関わりや特定の時間を設けることを検討します。 気持ちを表現しやすい環境づくり：お子供様が「我慢せずに話せる場」を作るため、相談しやすい雰囲気をお大切にします。 今後も、お子供様が安心して過ごせる環境を整えてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。</p>